Vitalizer® Bass Preamp VP-B1F/VP-B1J4

取扱説明書

このたびはPROVIDENCE製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を末永くご使用頂くためにも、必ずこの取扱説明書をご一読下さい。

■特　長

● Vitalizer® Bass Preamp VP-B1

ストンプボックス型プリアンプ DBS-1の回路をもとに改良し小型化、さらにベース用Vitalizer®-B(*)を併載したベース内蔵型プリアンプがVitalizer® Bass Preamp VP-B1です。

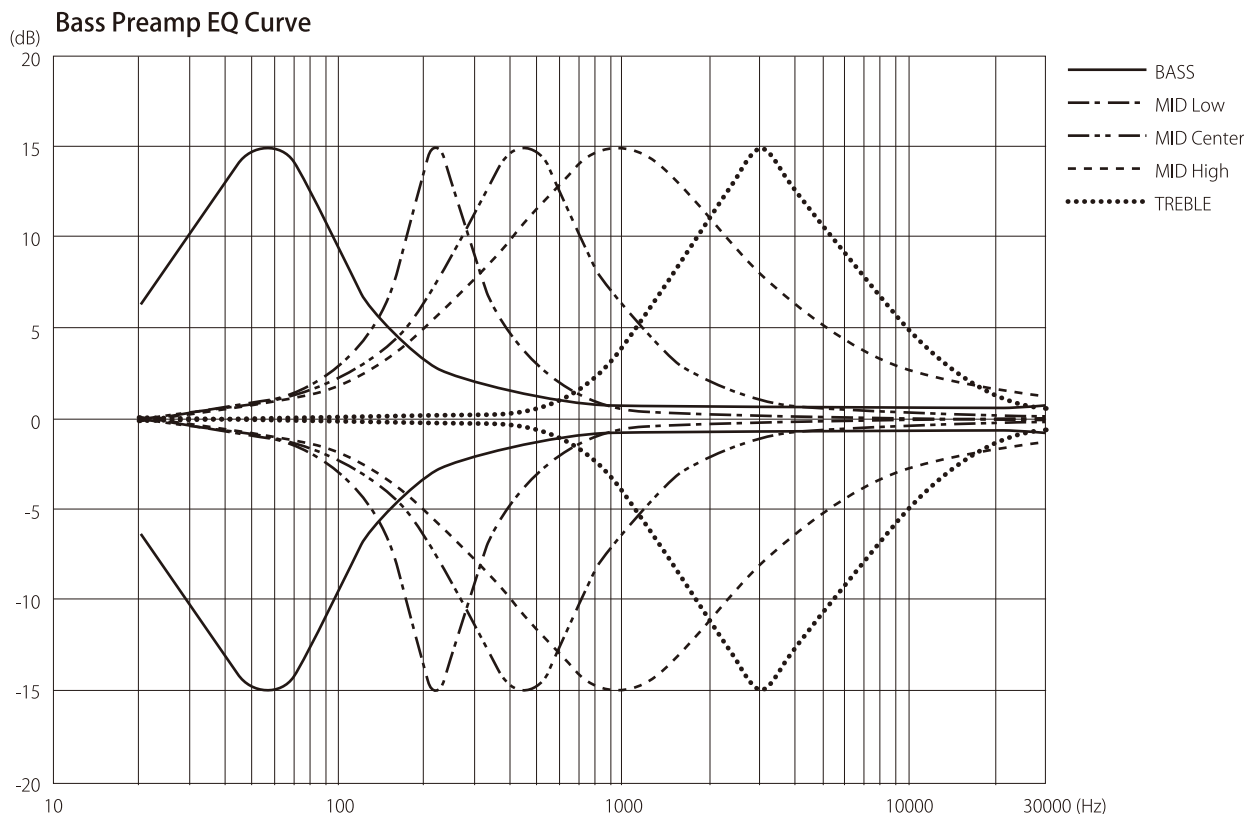
9VDC駆動でも極力効率の良い設計を施し、超ローノイズ･ワイドレンジで歪みの少ないクリーンな出力を実現しました。DBS-1のノウハウをそのまま移植した3バンドEQセクションは、Treble/ Mid/Bassそれぞれの重要な帯域を絶妙なQカーブのピーキングでブースト/カットします。

＊Vitalizer®-B

Vitalizer®とは、プラグ/ジャックの接点や長いケーブル等によるノイズや音質変化の影響を受けやすいハイ･インピーダンスの電気信号を、影響の受けにくいロー･インピーダンス信号に変換するバッファーアンプの一種です。ギターやエフェクターなど楽器の信号特性を踏まえて、敢えてHi-Fiになりすぎないようにプロビデンス独自の工夫が施されています。そのVitalizer®の技術を基本にベースギター用にアレンジしたのがVitalizer®-Bです。

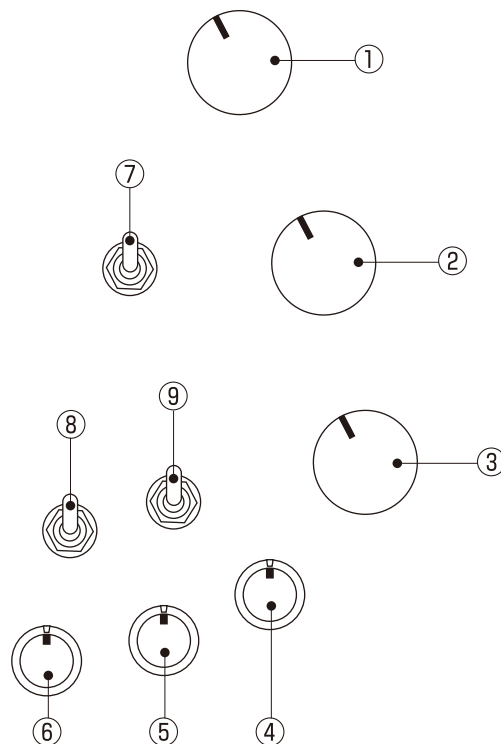
ベースギターの広いダイナミックレンジと周波数レンジに対応し、ナチュラルな音質を損なう事のない回路設計、部品選定が行われています。

■VP-B1 Specifications

- ● 入力インピーダンス ：1MΩ
- ● 出力インピーダンス ：470Ω
- ● ノイズレベル ：－100dBu以下
- ● 駆動電源 ：9V(006P)×1
- ● 消費電流 ：約2.7mA @ 9V
- ● モジュールサイズ ：27mm(W)×14mm(H)×50mm(D)
- ● 重量 ：約20g(モジュール単体)
- ● EQ Point ：Treble/3kHz ±15dB(Peaking)
  ：Mid/1kHz or 440Hz or 220Hz ±15dB(Peaking) ※VP-B1Fのみ
  ：Bass/60Hz ±15dB(Peaking)

■ VP-B1F

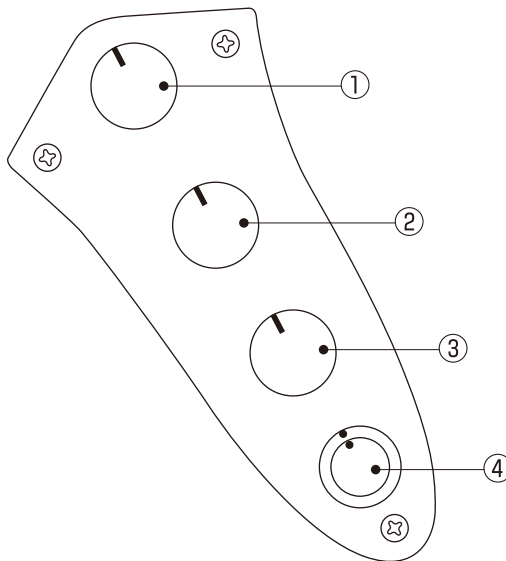
●VP-B1のコントロールをフルに活かし、細やかな調整を可能にしたアッセンブリセットです。
パッシブコントロールはフロントピックアップ、リアピックアップの音量をそれぞれ独立して調整し、Tone Volumeでミックスされた音のトーンをコントロールします。
アクティブコントロールはTreble/Mid/Bassそれぞれをボリュームポットでブースト/カットします。
さらに、Midには3ポジションスイッチを搭載し、周波数帯を選択することで的確なセッティングを可能にしています。
Active/Passive SWは、アクティブ回路のON/OFF切り換えが可能です。
Nuance SWは、EQやトーン回路とは違う中音域の質感を微妙に変化させることができます。

●コントロール

①Front Volume：フロントピックアップの音量を調整します。
左に回すと出力レベルが下がり、右に回すと出力レベルが上がります。
②Rear Volume：リアピックアップの音量を調整します。
左に回すと出力レベルが下がり、右に回すと出力レベルが上がります。
③Tone Volume：高音域の調整をします。
左に回すと高音域がカットされ、右に回すとフラットになります。
④Treble：高音域レベルを調整します。センタークリック位置がフラットレベルです。
右に回すとブーストされ、左に回すとカットされます。
⑤Mid：中音域レベルを調整します。センタークリック位置がフラットレベルです。
右に回すとブーストされ、左に回すとカットされます。
⑥Bass：低音域レベルを調整します。センタークリック位置がフラットレベルです。
右に回すとブーストされ、左に回すとカットされます。
⑦Active/Passive SW：プリアンプのON/OFFを切り換えます。
ネック方向に倒すとON、ブリッジ方向に倒すとOFFになります。ONにするとパッシブコントロールからアクティブEQ回路を通って出力されます。OFFではアクティブEQ回路はスルーし、パッシブのまま音が出力されます。
⑧3way Mid Frequency SW：Midの中心周波数を3種類から選択します。ネック方向に倒すとMid High、真ん中でMid Center、ブリッジ方向に倒すとMid Lowに中心周波数が移動します。
※Bass Preamp EQ Curveグラフ参照
⑨Nuance SW：内部回路を切り換え中音域のレンジ感を変化させます。ネック方向に倒すとONに、ブリッジ方向に倒すとOFFになります。ONにすると中音域のレンジ感を広げる事ができます。

■ VP-B1J4

●VP-B1を4ノブ･コントロールプレートに構成したアッセンブリセットで、限られたスペースでも使い易さを重視したレイアウトになっています。
パッシブコントロールはMaster Volume、Balance Volume、Tone Volumeの3ノブで、Master VolumeにはPush/Pull SWが付いており、アクティブ回路のON/OFF切り換えが可能です。
また、Balance Volumeにはオリジナルカーブのポットを採用し、前後ピックアップの微妙なミックスバランスをコントロールする事ができます。
アクティブコントロールはデュアルポットでTreble/Bassでブースト/カットをコントロールします。

●コントロール

①Master Volume w/Push/Pull SW：全体の音量を調整します。
左に回すと出力レベルが下がり、右に回すと出力レベルが上がります。Push/Pull SWはノブを引くとOFF、押すとONになります。ONにするとパッシブコントロールからアクティブEQ回路を通って出力されます。OFFではアクティブEQ回路はスルーし、パッシブのまま音が出力されます。
②Balance Volume：フロントピックアップ、リアピックアップの出力する割合を調整します。
センタークリック位置でフロントピックアップ、リアピックアップが同じ比率で出力されます。
右に回しきるとフロントピックアップ、左に回しきるとリアピックアップのみの音が出力されます。
③Tone Volume：高音域の調整をします。
左に回すと高音域がカットされ、右に回すとフラットになります。
④Treble/ Bass：高音域(ノブ上)、低音域(ノブ下)のレベルを調整します。
センタークリック位置がフラットレベルです。右に回すとブーストされ、左に回すとカットされます。

■バッテリーの交換について

本体裏ブタのネジを外し、バッテリーを交換します。バッテリーは9V/006Pをご使用下さい。交換の際には、ケーブルを強く引っ張ったりしないでください。断線など、故障の原因となります。

■取扱上の注意

●アンプ等スピーカーがつながっている機器の電源を入れた状態で、本機の出力ジャックの抜き差しをしないでください。ノイズが発生し、スピーカーを痛める可能性があります。
●故障や異常が生じた場合はただちに使用を中止しお買い上げ店または当社までご相談ください。
●長時間、本機を使用しない場合はバッテリーの液漏れを防ぐためにバッテリーを取り出して保存してください。
●電池の電圧が低下すると、出力レベルが低下したり、音が出なくなったりします。このような場合は、新しい電池と交換してください。
●出力ジャックにプラグを差し込むと内蔵のアクティブ回路電源がONになります。アンプやミキサーなどで音を出す必要のない時は、電池の消耗を防ぐためにプラグを抜いて下さい。

※ 規格および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

株式会社パシフィクス
〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-21-7
TEL. 045-510-4060 FAX. 045-510-4061
URL. http://www.providence.jp/ E-mail. info1@pacifix-ltd.com